

通信

喜多 浩一

き た こう いち

Vol.34 発行・喜多浩一

金沢市議会議員3期目最終年を迎えて

平成 23 年 4 月に初めて金沢市議会議員の議席を皆様から頂いてから、今年で早 12 年目を迎えました。市議会議員の仕事をごここまで続けてこられたのは、ひとえに市民の皆様の厳しくも温かいご指導があったからこそです。改めて感謝申し上げます。

今年の 3 月に行われた山野前市長の辞職に伴う金沢市長選挙において、村山前副市長が当選されました。金沢生まれの市長ではありませんが、これまでの国の官僚としての経験や 3 年間の副市長としての実績などを生かし、歴代の市長に勝るとも劣らない素晴らしい金沢市長になられると思います。市民の皆様も是非とも、村山市長に叱咤激励の声をかけていただきたいと思います。

新型コロナウイルスについては、海外の状況などを鑑みても、まだまだ予断の許さない状況ではありますが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの経済を止めてしまう政策の発動については国の方も消極的であり、感染防止と経済の両立を行いながら、本来の社会のあるべき姿に戻していきたいものです。

私自身も今任期最終年を迎えています。最終決算の 1 年として全力で仕事に邁進していきますので、これまで同様のご指導ご支援をいただくことをよろしく願いいたします。

バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれます。ホームページも新しくなりましたので、ぜひアクセスしてください。(喜多浩一)

<https://kita-koichi.com>



▼ 議会活動 PHOTO ▲



①議会開催中の様子
金沢市役所6階にある議場です。市長をはじめとする執行部（行政）と議員（立法）が対峙しているつくりになっています。



②式典ごあいさつ
文教消防常任委員会の委員長として、乾杯のごあいさつをさせていただきました。



③浅野川三流し
鯉流し、灯ろう流し、笹流しの三つの「流し」が行われており、活動に加わらせていただいています。



④犀桜小学校の竣工式
新堅町小学校と菊川町小学校と一緒に、その新校舎が建設されました。

喜多浩一 プロフィール

昭和 45 年 5 月 野町に生まれる
52 年 3 月 藤蔭幼稚園卒
58 年 3 月 森山町小学校卒
61 年 3 月 星稜中学校卒
平成 元年 3 月 金沢泉丘高校卒
9 年 3 月 早稲田大学卒
9 年 4 月 今村証券株式会社入社
23 年 1 月 //

平成 23 年 4 月 金沢市議会議員選挙に初当選
27 年 4 月 金沢市議選挙で2期目の当選
31 年 4 月 金沢市議選挙で3期目の当選
令和 2 年 3 月 第123代金沢市議会副議長に就任 (同年9月退任)
金沢市泉本町に在住
資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士
家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ→金沢泉丘高校野球部)、次男

ご意見などございましたらお気軽に・・・

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
金沢市役所6F
会派控室
まで



フェイスブックで情報を発信しています。ぜひアクセスをお願いします！

◀ 令和4年2月定例月議会での主な一般質問と答弁の要約 ▶

部活動改革について

(喜多浩一)

部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、教師が部活動の指導に携わる必要のない環境を構築する方向性が文部科学省から示されました。しかし、民間委託した場合や地域の施設に委託した場合、子どもたちにとって移動やそれに伴う費用負担などが過大になり、部活動に参加したくてもできない子どもが出てくるかもしれませんし、ケガなどの安全管理面などの低下も考えられます。部活動改革に対するご所見をお聞かせ願います。

(野口教育長)

受け皿の整備、施設や指導者の確保、大会のあり方、経済的に困窮する生徒への支援策など課題が浮き彫りになってきている。休日の部活動の段階的な移行に向けて、中学校の校長会やスポーツ協会、中学校体育連盟等の外部機関と既に意見交換している。引き続き、国や県の動向、他都市の取組みを参考にしながら、どのように改革をしていけばいいのか検討していきたい。

社会人のデジタル人材の育成について

(喜多浩一)

IT 業界は人材不足が叫ばれており、本市内の企業からも仕事はあるもののプログラミングなどの技術を持った即戦力となる人材がいけないという声が数多く聞かれます。我々のような大人の世代は「プログラミング教育」等の授業はなく、学ぶには高専や大学の専攻過程、専門学校などに進学する必要性がありました。しかしながら昨今はインターネット上で学ぶことができるオンラインスクールなど、選択肢が増え、社会人が在職中であっても学ぶことができます。そこで、本市でもプログラミングやデザインなどのデジタル技術を学習できる民間サービスを推奨し費用を補助することができれば、負担なく専門的な職業に転職が可能かと考えますが、いかがお考えかお聞かせ願います。

(相川市長職務代理者)

ビジネスを取り巻くデジタル技術の進展は高度で広範囲になってきている。これに対応していくことも行政に求められている。今年度、ものづくり企業デジタル人材育成支援事業を創設し、専門スキルの向上を図る研修費用や受講料の一部を助成している。

金沢百万石まつりと加賀友禅灯ろう流しについて

(喜多浩一)

今年の金沢百万石まつりは 3 年ぶりの開催であることを考えると、感染防止対策もさることながら、

例年にも増した内容の充実が求められると思いますが、いかがお考えかお聞かせ願います。また、2018 年の事故以降中止になっていた加賀友禅灯ろう流しが復活する予定とのことですが、運営面や安全面などの課題は解消されたのかについてもお答え願います。

(山田経済局長)

金沢百万石まつりについては、最先端の 5 G 技術を活用した百万石行列のライブ配信を行う。スマートフォン等を利用し、遠隔で視聴できる環境をつくることで、コロナ対策につなげていきたいと考えている。また、加賀友禅灯ろう流しについては、今年は百万石まつり実行委員会の主催事業として実施することとしており、会場への入場制限などの感染対策を徹底する他、灯ろうの明かりについては、従前のろうそくから LED ライトに変更し、安全面に配慮する。

建設工業新聞 (4月11日号) ▶

建設工業新聞
(4月12日号)
▼

今四半期に道路詳細設計
都市計画道路泉野々市線 金沢市

金沢市は、都市計画道路泉野々市線の未供用区間の整備で、第1四半期に道路詳細設計を発注する方針だ。

都計道泉野々市線は、金沢市泉1丁目から野々市市二丁目に至る全長4330mの幹線街路で、1930(昭和5)年に都市計画決定。このうち、西泉4丁目から野々市2丁目の1150mが未供用区間となっており、県が西泉方面、市が押野方面を整備することになっている。

未供用区間の計画によると、車線数は2車線(全体幅員16m)で、北陸鉄道石川線との立体交差部は高架橋によるオーバークロス方式を採用する。高架橋の延長は約370mで、予備設計は日本海コンサルタント。今年度当初予算には事業費4860万円を計上。コンサル業務の発注見通しによると、第1四半期に調整池および消雪施設の予備設計のほか、第2四半期には建物積算調査を発注する予定となっている。

特別支援教育の拠点が起工
サポートセンターや中央小芳齋分校

—金沢市—

「金沢市特別支援教育サポートセンター(仮称)、中央小学校(仮称)、中央小学校芳齋分校、中央地区新築」

中学校(仮称)特学分校、芳齋公民館及び芳齋児童建設工事」の安全祈願祭と起工式は10日、芳齋2丁目地内の建設地でわれ、関係者約70人が特別支援教育拠点施設の無事完成を祈念した。

式では、村山市長が「サポートセンターでは、子どもの健やかな成長に向けた支援体制を強化。特学分校は小中併設により、9年間を通じた連携協働を図るなど、特別支援教育の一層の充実を確実に進めたい」とあいさつ。来賓の小森重雄衆議議員、高岩勝人市議員、長が祝辞を述べ、喜多浩一市議会文教消防常任委員長が発言で乾杯した。

建設規模はRC造4階建て延べ5752平方メートル。老朽化した芳齋分校校舎の改築にあわせ、小待町の特学分校を移転。きめ細かい教育を行うサポートセンターを設置し、地区の公民館と児童館を施設内に再整備する。

施設は周辺の住宅街から離して設置し、圧迫感を軽減。壁や天井に木材を多用し、快適な室内環境を整備する。体育館は既存の施設を活用する。建設事業費は約22億円。7月から体育館改修、2023年度に外構およびグラウンド工事に着手し、24年4月の供用開始を目指す。

実施設計は中島建築事務所(建築)、中島設備事務所(設備)、アメニテック(外構)。施工は兼六・アシーズ・フレックス工業JV(建築1)、真柄・本田・兆建JV(同2)、北野電興・米沢電気工事JV(電気1)、アメニテック(同2)。

1、松村物産(空調)
2、三谷産業(給排水1)、昌和管工(同2)。

安全祈願祭では、施工者を代表して兼六建設の橋本和宏社長が鎌入れ、村山市長が鎌入れ、高岩議長が勲入れした後、野口副教育長や芳齋地区町会連合会や芳齋地区児童会、建設の真柄重雄社長、中島建築事務所社長、光太郎社長らが玉串を捧げ、工事の安全を願った。

建設規模はRC造4階建て延べ5752平方メートル。老朽化した芳齋分校校舎の改築にあわせ、小待町の特学分校を移転。きめ細かい教育を行うサポートセンターを設置し、地区の公民館と児童館を施設内に再整備する。

施設は周辺の住宅街から離して設置し、圧迫感を軽減。壁や天井に木材を多用し、快適な室内環境を整備する。体育館は既存の施設を活用する。建設事業費は約22億円。7月から体育館改修、2023年度に外構およびグラウンド工事に着手し、24年4月の供用開始を目指す。

実施設計は中島建築事務所(建築)、中島設備事務所(設備)、アメニテック(外構)。施工は兼六・アシーズ・フレックス工業JV(建築1)、真柄・本田・兆建JV(同2)、北野電興・米沢電気工事JV(電気1)、アメニテック(同2)。

1、松村物産(空調)
2、三谷産業(給排水1)、昌和管工(同2)。

壁や天井などに木材を多用した玄関ホールのイメージ図